

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	札幌医科大学
設置者名	北海道公立大学法人札幌医科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
医学部	医学科	夜・通信				197.5	19	
保健医療学部	看護学科	夜・通信				95	13	
	理学療法学科	夜・通信				111	13	
	作業療法学科	夜・通信				106	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

冊子により事務局学務課で閲覧可能(平日午前9時から午後5時まで)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	札幌医科大学
設置者名	北海道公立大学法人札幌医科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページによる。

<https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/03bqho000000074m.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	北海道保健福祉部 少子高齢化対策監	2026.4.1～ 2028.3.31	統括調整、総務、危機管理
常勤	株式会社北洋銀行 執行役員公務金融部長	2026.4.1～ 2028.3.31	財務、経営戦略（法人統括）、広報
（備考） 任期は、6年を超えない範囲において理事長が定める。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌医科大学
設置者名	北海道公立大学法人札幌医科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・医学部医学科及び保健医療学部各科ごとにシラバスを作成し、ホームページで公表している。 ・札幌医科大学医学部のカリキュラムの改訂及び編成を審議するため、札幌医科大学医学部カリキュラム委員会を、札幌医科大学保健医療学部カリキュラム改訂及び編成を審議するため、札幌医科大学保健医療学部カリキュラム委員会を設置している。	
授業計画書の公表方法	医学部：ホームページによる。 https://web.sapmed.ac.jp/jp/school/medicine/03bqho000000027y.html 保健医療学部：ホームページによる。 https://web.sapmed.ac.jp/jp/school/health/departement/ahfmc00000001gdx.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 医学部においては、「札幌医科大学医学部の教育課程、授業科目履修方法、試験及び進級取扱いに関する規程」により、保健医療学部においては、「札幌医科大学保健医療学部の教育課程、授業科目履修方法、試験及び進級取扱いに関する規程」により単位の授与について認定している。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価は、一部の試験を除き、当該科目ごとに100点満点とし、優(80点以上)、良(70点以上80点未満)、可(60点以上70点未満)、不可(60点未満)としている。 【関係規程】 ・札幌医科大学医学部の教育課程、授業科目履修方法、試験及び進級取扱いに関する規程 ・札幌医科大学保健医療学部の教育課程、授業科目履修方法、試験及び進級取扱いに関する規程	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページによる。 https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/03bqho00000042gg.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 札幌医科大学では、科学の進歩に対応し社会に貢献する人間性豊かな人材の育成を目的として、医学・医療の各専門領域のプロフェッショナリズムと基礎的な知識と技術の修得を目指した教育を行う。 各学部・学科・研究科等が定めるディプロマ・ポリシーが求める水準を満たすとともに、所定の単位を修得し、最終試験・論文審査等に合格した学生に単位を授与する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/03bqho000022u2hy.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	札幌医科大学
設置者名	北海道公立大学法人札幌医科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページによる。 https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/section/foundation/03bqho00000006e8.html
収支計算書又は損益計算書	ホームページによる。 https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/section/foundation/03bqho00000006e8.html
財産目録	—
事業報告書	ホームページによる。 https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/section/foundation/03bqho00000006e8.html
監事による監査報告(書)	ホームページによる。 https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/section/foundation/03bqho00000006e8.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称: 北海道公立大学法人札幌医科大学「中期計画」対象年度: 令和7年度～令和12年度)	
公表方法: ホームページによる。 https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/section/foundation/s79u9o0000000ptb.html	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページによる。 https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/check/index.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページによる。 https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/check/index.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的（公表方法：ホームページによる。 https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/03bqho00000042gg-att/03bqho000013534i.pdf） （概要） 医学部は、変化し多様化する地域及び国際社会の要請に応えるとともに、医学と医療の進歩及び向上に貢献することができる人間性豊かな医師並びに医学研究者を育成することを目的としている。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページによる。 https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/03bqho000022u2hy.html） （概要） ディプロマ・ポリシー(学位授与方針) 医学部では、所定の単位を修得し、以下の要件を修得した学生に学位を授与する。 1. 倫理観・社会的責任、プロフェッショナリズムに関する内容(態度) 高い倫理観・責任感を備え、医療者としての使命感をもって患者の立場を重視するとともに、研究マインドをもって医学・医療に生涯を通じて貢献できる。 2. 地域医療、研究、国際貢献に関する内容(関心・意欲) 幅広い視野をもって積極的に地域医療を担う意欲を育み、先駆的研究に関心をもって国際的な医学・医療の発展に貢献する。 3. 基本的医学知識と基本的技術、コミュニケーション能力に関する内容(知識・技能) 基本的な医学知識と技術を習得し、協調性と指導力をもって診療や保健指導、医学研究を実践できる。 4. 問題解決・課題探求能力に関する内容(思考・判断) 現状に潜む問題点を課題として提起し、科学的根拠及び的確な方法に基づく論理的思考を通して自ら解決できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページによる。 https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/03bqho000022u2hy.html） （概要） 医学部では、ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)を達成するために、以下のカリキュラム・ポリシーを基に教育課程を編成し実施する。 1. 倫理観・社会的責任、プロフェッショナリズムに関する内容（態度） ・多様化する医学・医療の進歩に対応し、変化する社会の要請に応え生涯にわたって学修を継続する医療人としての人間性を涵養する。 ・立場や背景の異なる他者、弱者を理解し共感する力を身につけるため、ロールモデルによる演習や一般社会の中での実習を組み込んだ教育を行う。 ・人文科学の視点からの健康・疾病についての考えや、社会における疾病の複合的な面を理解できるよう教養教育、基礎医学、臨床医学の各科目間の連携を重視する。 2. 地域医療、研究、国際貢献に関する内容（関心・意欲） ・患者と家族を取り巻く社会状況、社会制度、法制度を理解するための実習プログラム、地域拠点と連携した臨床実習を編成して、地域医療に貢献できる人材を育成する。 ・研究が必要な課題の存在を理解し、先駆的研究に自ら貢献する意志と情熱を昂揚させるよう環境と機会を設ける。 ・国際的な医療の現状と課題、国際貢献の様々なあり方について理解を深める。

3. 基本的医学知識と基本的技術、コミュニケーション能力に関する内容（知識・技能） ・医療行為や保健指導に必要とされる専門領域での知識と技術を体系的に学修し、獲得した成果を主体的に実践する機会を設ける。 ・リーダーシップを醸成し、多職種の尊重・共感・協調等を促すための課外活動や社会活動を支援する。 4. 問題解決・課題探求能力に関する内容（思考・判断） ・PBL（Problem-Based Learning）チュートリアルやTBL（Team-Based Learning）などにより能動的学修を促し、基礎医学実習や診療参加型臨床実習における自己学習、自己評価の過程や結果を重視した教育を行う。 ・疾病の原因に個人要因以外に社会的な問題も含まれていることを考察し、問題発見・解決型の自己学習ができる教育環境を設ける。 なお、学修成果の評価方法として、科目の到達目標や学修内容等に応じて、試験、レポート、口頭試問、小テストや授業での態度等によって、素点（100点満点、60点以上を合格）およびGPによって評価し表示する。具体的な評価方法はシラバスに明示する。また、全学的に学生に対する調査を行い、ディプロマ・ポリシーで示した目標が達成されているかを検証する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページによる。 https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/03bqho000022u2hy.html）
（概要） 医学部は、北海道民の健康と医療を守り、地域や国際医療に貢献できる医師及び国際的・先端的研究を通じて世界に貢献できる研究医を育てます。命を尊ぶ心を持ち、病める人を救う情熱のある医師を育てていくために、以下に掲げる能力・資質を有する学生を求める。 【知識・技能】 1. 高等学校等で学ぶ諸教科に関して高い基礎学力を有し、強い学習意欲を有する人 2. 国際的視野で考え行動し、科学的探究心と創造力を持って生涯にわたって学修に取り組む能力を持っている人 【思考力・判断力・表現力等の能力】 1. 様々な事象に対し、関心と理解力をもつ人 2. 自分自身で得た知識・情報をもとに論理的思考を行うことができる人 3. コミュニケーションに必要な口頭・文章表現力を有する人 【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】 1. 積極的に自ら物事に取り組む姿勢を有する人 2. 他者の考えの理解に努め、多様な属性の人々と協調して良好な関係を築くことができる人 3. 社会生活で守らなければならない法律や道徳に従い、良識ある行動ができる人

学部等名 保健医療学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページによる。 https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/03bqho00000042gg-att/03bqho000013534i.pdf）
（概要） 保健医療学部は、創造性と倫理性に富む豊かな人間性を基盤に、関連諸科学と医療の進歩に対応し、地域の保健・医療・福祉の充実と社会の発展に貢献する実践力を備えた看護師、理学療法士、作業療法士及び学問分野の進展に寄与しうる人材を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページによる。 https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/03bqho000022u2hy.html）

(概要)

保健医療学部では、人々の健康と生活を支える看護師、理学療法士、作業療法士の養成、及び看護学、理学療法学、作業療法学の発展、実践の向上に寄与する人材を育成するため、教育目標を設定している。

この目標の達成に必要な基本的な能力を学部ディプロマ・ポリシーとして定めるとともに、各分野に求められる具体的な能力に関しては、学科ごとに明示する。

保健医療学部では、学部・学科のディプロマ・ポリシーが求める能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士の学位を授与する。

1. 建学の精神を実現するための基盤となる能力

- 1) 幅広い教養を身につけ、多角的視野から物事の本質を明確化する能力、科学的に思考し、自らの考えを適切に表現できる能力を身につけている。【教養・理解】
- 2) 文化や価値の多様性を受け入れ、人権・人格・個性を尊重し、寛容で協調性のあるコミュニケーション能力を身につけている。【コミュニケーション力】
- 3) 保健・医療・福祉の発展を志向し、主体的に物事に参画する行動力を身につけている。【志向性・主体性】

2. 保健・医療・福祉の実践を担う専門職、専門分野の発展に寄与する能力

- 1) 看護師、理学療法士、作業療法士それぞれの専門領域に求められる体系的な知識と技術を身につけ、論理的に思考する能力を身につけている。【知識・技能】
- 2) 保健・医療・福祉にかかわる様々な人々と連携・協働する能力を身につけ、地域医療を含む様々な領域で実践できる能力を身につけている。【地域医療・多職種連携力】
- 3) 医療者としての倫理観を育み、専門職としての役割と責任を認識し、豊かな発想と科学的思考によって解決策を構想する能力を身につけている。【倫理・問題解決力】
- 4) 医療の実践、各学問分野の発展のために、自らのキャリアプランに沿って研鑽する意欲と社会的および職業的自立を図るために必要な自己学習力を有している。【キャリア形成・生涯学習】

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページによる。

<https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/03bqho000022u2hy.html>）

(概要)

保健医療学部では、ディプロマ・ポリシーに示す能力を身につけた人材を育成するために、人間・自然・社会を広く学ぶ「一般教育科目」と、専門職、専門分野の基盤となる「専門教育科目」を体系的に編成し、講義・演習・実験、臨地／臨床実習を適切に組み合わせた教育課程を展開する。

学部カリキュラム・ポリシーでは、学部ディプロマ・ポリシーを達成するための3学科共通の基本事項を定め、専門教育科目に関しては、各学科のカリキュラム・ポリシーに具体化する。

1. 教育内容

各専門職の養成施設指定規則を包含した保健医療学部独自の科目を含むカリキュラムによって、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を身につけることができるよう4年間のカリキュラムを編成します。

【教養・理解】

- 1) 1年次から2年次にかけては広い視野で多角的に思考できる能力と豊かな人間性を育むために、「自然科学」「心理と思考」「社会と文化」「生活と情報」「外国語」をはじめ専門的な学修に必要な基礎的学力を修得できる「一般教育科目」「専門基礎科目」を編成します。

【コミュニケーション力】

- 2) 医療職の支援を必要としている人の多様性を理解し、良好な関係を構築できる知識・能力を育むために、「一般教育科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」を編成しま

す。また、寛容で協調性のあるコミュニケーション力を育むために演習を含む科目や「臨地実習/臨床実習」を配置します。

【志向性・主体性】

- 3) 「一般教育科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」による体系的な学びを通じ、保健・医療・福祉の諸課題に関心を高める科目配置とします。特に全学科が全年次で履修する「保健医療総論1～4」や各学科の専門教育を行う3・4年次の演習科目を通じて、他者と積極的に対話し、協働するための志向性・主体性を涵養します。

【知識・技能】

- 4) 看護学・理学療法学・作業療法学の支持科目、地域医療にかかわる科目で構成する「専門基礎科目」、専門分野の知識と技術を系統的・段階的に学修する「専門科目」、既習の知識と技術の統合が求められる「統合学習」、対象者、関係職種の人々とののかかわりを通して専門職に必要な知識・技術・態度を実践的に学ぶ「臨地実習/臨床実習」で編成します。

【地域医療・多職種連携力】

- 5) 「統合学習」では、2学部4学科が4年間継続して合同チームで地域の医療の実態と課題、対策を考える「地域医療合同セミナー1～4」、保健医療学部3学科合同のチームで学ぶ「保健医療総論1～4」を各年次に配置し、医療専門職に求められる基本的な態度と、多職種連携・協働のあり方を学修できる科目を編成します。また、各学科の「専門科目」においてそれぞれの専門性の観点から地域医療における役割や支援方法を学修する科目を編成します。【倫理・問題解決力】

- 6) 医療職としての倫理観を育むため、初年次より各専門職の概論科目や「保健医療総論1～4」などの科目を編成するとともに、「専門科目」でそれぞれの医療専門職としての倫理観を涵養します。また、初年次より、探究心を持ち、主体的に研鑽を積むために必要な技能を身につける「基礎セミナー」を配置する。更に、3・4年次には研究に関する科目を開講し、指導教員のもとで、一連の研究過程を修得できる科目を配置します。

【キャリア形成・生涯学習】

- 7) 生涯を通じた持続的な就業力の育成を目指すキャリア教育とキャリア支援は、各学科の正課内・外を通して行われ、キャリア形成にかかわる基礎となる諸事項は3年次の合同科目として「キャリアデザイン」を配置します。

2. 教育方法

- 1) カリキュラムは各学科とも年次進行に即して専門性を深めていく漸進的な編成とします。
- 2) 学生の専門職志向を早期に促すため、初年次から専門に関わる科目を段階的に導入します。
- 3) 少人数体制という学部・学科の強みを活用し、能動的学修を積極的に取り入れ、協働して学修する時間やプレゼンテーション等の機会を提供し、主体性を持って学修する力、コミュニケーション能力、問題解決力を養成します。
- 4) 事前学習と事後学習を重視した体系的な学修を通じて、自発的・持続的な学習態度を養成します。

3. 学修成果の評価

- 1) ディプロマ・ポリシーに示された学修成果の修得状況に関し、教育課程レベル・科目レベル・学修到達レベルの評価を行うこととし、具体的な内容はアセスメント・ポリシーに定めます。
- 2) 各科目で策定された到達目標の達成状況が確認できる明確な評価基準にしたがって適切に成績評価を行うとともに、GPAを用いて教育課程および学修到達度を客観的に評価します。
- 3) 学生個人の成績評価は、科目シラバスに示す評価対象・評価割合に基づき、試験・レポート・プレゼンテーション等、各科目の教育内容・方法に適した方法で実施します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページによる。
<https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/03bqho000022u2hy.html>）

（概要）

保健医療学部は、札幌医科大学の建学の精神、理念に基づき、看護師・理学療法士・作業療法士に求められる実践能力やそれぞれの学問分野の発展に寄与する研究能力の基礎・基本を育むことを目的にディプロマ・ポリシー（学位授与方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）に基づく教育を行っている。このような教育を受けるための条件として、以下に掲げる能力・資質を具えた学生を受け入れる。

求める学生像

【知識・技能】

1. 高等学校の教育課程で学ぶ知識・技能を幅広く、かつ高いレベルで有している

【思考力・判断力・表現力】

2. 社会の様々な課題について、知識や情報をもとに筋道を立てて倫理的に思考し、自分の言葉で表現できる

3. 知的探究心をもって広く社会に目を向け、柔軟な発想で物事をとらえることができる

【主体性をもって多様な人々と協同して学ぶ態度】

4. 良心と社会規範にしたがって良識ある行動をとることができる

5. 人々との交流を大切にし、常に温かな配慮をもって他者と接することができる

6. 自らの成長のために粘り強く物ごとに取り組むことができる

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページによる。

<https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/03bqho00000042gg.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）								
学部等の組織の名称		学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－		1人	－					1人
医学部	医学科（講座）	－	43人	32人	62人	155人	人	292人
	附属研究所	－	2人	1人	4人	3人	人	10人
	動物実験施設部	－	人	人	1人	人	人	1人
	教育研究機器センターシステム管理部門	－	人	1人	人	人	1人	2人
保健医療学部	看護学科	－	10人	5人	9人	8人	4人	36人
	理学療法学科	－	5人	2人	2人	4人	人	13人
	作業療法学科	－	6人	5人	1人	2人	人	14人
医療人育成センター	入試・高大連携部門	－	人	人	1人	1人	1人	3人
	教養教育研究部門	－	3人	8人	3人	人	人	14人
	教育開発研究部門	－	1人	1人	人	2人	人	4人
	応用情報科学部門	－	1人	人	人	人	人	1人
統合IRセンター	－	－	人	人	人	人	人	人
附属総合情報センター	企画開発室	－	人	1人	人	人	人	1人
b. 教員数（兼務者）								
学長・副学長			学長・副学長以外の教員					計
人			人					人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）			公表方法： https://researcher.sapmed.ac.jp/search?m=home&l=ja					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）								

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
医学部医学科	110人	110人	100.0%	660人	665人	100.8%	0人	0人
保健医療学部	看護学科	50人	100.0%	200人	199人	99.5%	0人	0人
	理学療法学科	20人	100.0%	80人	80人	100.0%	0人	0人

	作業療 法学科	20 人	20 人	100.0%	80 人	80 人	100.0%	0 人	0 人
合計		200 人	200 人	100.0%	1,020 人	1,024 人	100.4%	0 人	0 人
(備考)									

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数					
学部等名		卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
医学部医学科		105 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	105 人 (100.0%)
保健 医療 学部	看 護 学 科	50 人 (100%)	13 人 (26.0%)	37 人 (74.0%)	0 人 (0%)
	理学療 法学科	20 人 (100%)	5 人 (25.0%)	15 人 (75.0%)	0 人 (0%)
	作業療 法学科	20 人 (100%)	0 人 (0%)	20 人 (100.0%)	0 人 (0%)
合計		195 人 (100%)	18 人 (9.2%)	72 人 (36.9%)	105 人 (53.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)					
(備考)					
医学部医学科については、国家試験合格後に初期臨床研修が義務となるが、初期臨床研修は就職ではないためその他に記載。(105 名中 102 名が国家試験合格 3 名は次年度再受験予定)					

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
・各学部(学科)のカリキュラムについては、本学公式ホームページで公開している。
・教育課程については、上記に記載しているとおり。
また、評価及び卒業などの認定基準などの以下の規程は「参考」として併せて公表している。
○医学部の教育課程、授業科目履修方法、試験及び進級取扱いに関する規程
○保健医療学部の教育課程、授業科目履修方法、試験及び進級取扱いに関する規程
○学位規程

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) ・評価及び卒業等の認定基準等の以下の規程は、「参考」として本学公式ホームページで情報提供している。 ○医学部の教育課程、授業科目履修方法、試験及び進級取扱いに関する規程 ○保健医療学部 of 教育課程、授業科目の履修方法並びに試験及び進級の取扱い等に関する規程 ○学位規程				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
医学部	医学科(一般枠)	220 単位	有 無	単位
	医学科(札幌医科大学卒後研修枠)	220 単位	有 無	単位
	医学科(道民枠)	220 単位	有 無	単位
	医学科(特別枠)	220 単位	有 無	単位
保健医療学部	看護学科	132 単位	有 無	単位
	理学療法学科	131 単位	有 無	単位
	作業療法学科	136 単位	有 無	単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: ホームページによる。

<https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/03bqho00000042gg.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
医学部	医学科	535,800 円	282,000 円	円	
保健医療 学部	看護学科	535,800 円	282,000 円	円	
	理学療法 学科	535,800 円	282,000 円	円	
	作業療法 学科	535,800 円	282,000 円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組	
(概要) 1 学生担当教員制度（医学部・保健医療学部） 各学科・学年に学生担当教員を配置し、学生生活全般に関して指導・助言・確認等を行うことで、学生の修学をサポートする制度。 2 学生グループ制（医学部） 「学生の変化や悩みの早期発見と親身な対応」、「将来の方向性や疑問に対するアドバイス」を目的として実施している。 第1～6学年の全ての学年の学生で構成された11～12名のグループを編成し、1つのグループを主・副2名のアドバイザー教員が担当している。年1回（5月頃）、グループ毎に「キックオフミーティング」を開催しており、4年生が中心となって面談内容を企画し、学生とアドバイザー教員が集まって面談を行っている。 3 学修・生活指導教員（シニアアドバイザー教員）制度（医学部） 学生担当教員及び学生グループ制担当教員と連携しながら、学生の学修及び生活状況について多層的な支援を行うための制度。 4 学生支援に関する調査（保健医療学部） 学生の生活状況を把握し、学生支援体制等を検証するための基礎資料とすることを目的として「学生支援に関する調査」を実施している。調査結果に基づき、学生の実態等に応じた学生支援の充実に取り組んでいる。 5 学生支援会議の開催 学生委員会委員及び学生担当教員が、学生の要望等を集約し、学習環境の充実に向け学生とともに検討する「学生支援会議」を平成26年度から開催している（学生からの要望により、毎年度11月～12月に開催）。	
b. 進路選択に係る支援に関する取組	
(概要) 【医学部】 医学部、学生部、医療人育成センターの教員が一体となって、「特別枠」「札幌医科大学卒業後研修枠」「道民枠」入学者をはじめ、全ての医学部学生のキャリア形成支援のために「医学部学生キャリア形成支援委員会」を設置している。委員会においては、入試枠別オリエンテーションの他、道内各地域で活躍中の卒業生による講演会の開催、冊子「札幌医科大学：北海道の医療を担う医師育成プログラム」の発行、「特別枠」学生のための北海道との調整等、学生のキャリアプランに関わる様々な情報発信とサポートを実施している。 【保健医療学部】 少人数制を生かし、学部教員全員が進路相談に当たり、きめ細やかな支援を行っている。求人情報一覧をホームページ上で取りまとめており、希望者は学務課前で募集案内等を閲覧することができる。	
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組	

(概要)

学生の健康管理に関する業務を専門的に担当する保健管理センターに、保健室及び相談室を設置し、保健師、看護師及びカウンセラーを配置している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページによる。

<https://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/03bqho00000042gg.html>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F101210100081
学校名（〇〇大学 等）	札幌医科大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	北海道公立大学法人札幌医科大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		206人（145）人	198人（141）人	212人（149）人
内 訳	第Ⅰ区分	34人	35人	
	（うち多子世帯）	（－人）	（－人）	
	第Ⅱ区分	26人	19人	
	（うち多子世帯）	（－人）	（－人）	
	第Ⅲ区分	8人	－人	
	（うち多子世帯）	（－人）	（－人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	17人	－人	
	区分外（多子世帯）	121人	120人	
家計急変による 支援対象者（年間）				－人（0）人
合計（年間）				212人（149）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	2人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	2人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	2人	人	人
計	2人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。